

令和2年度 船員保険ジェネリック医薬品
軽減額通知サービスの実施結果について

全国健康保険協会 船員保険部

令和4年3月

—目次—

1. 概要	・ ・ ・ ・ ・ 3
2. 事業実施内容	
2-1 通知対象者	・ ・ ・ ・ ・ 4
2-2 送付物の内容	・ ・ ・ ・ ・ 5
2-3 除外設定	・ ・ ・ ・ ・ 5
2-4 通知実績	・ ・ ・ ・ ・ 5
2-5 事業委託	・ ・ ・ ・ ・ 5
3. ジェネリック医薬品への切替え状況	
3-1 全体	・ ・ ・ ・ ・ 6
3-2 被保険者／被扶養者別	・ ・ ・ ・ ・ 7
3-3 男女別	・ ・ ・ ・ ・ 8
3-4 送付／返送（住所不明）別	・ ・ ・ ・ ・ 9
3-5 年代別	・ ・ ・ ・ ・ 10
3-6 都道府県別	・ ・ ・ ・ ・ 14
4. 軽減効果額	
4-1 軽減効果額	・ ・ ・ ・ ・ 21
4-2 一人当たり軽減効果額ごとの効果	・ ・ ・ ・ ・ 22
4-3 被保険者／被扶養者別	・ ・ ・ ・ ・ 23
4-4 男女別	・ ・ ・ ・ ・ 24
4-5 送付／返送（住所不明）別	・ ・ ・ ・ ・ 24
4-6 年代別	・ ・ ・ ・ ・ 25
4-7 都道府県別	・ ・ ・ ・ ・ 27

1 概要

船員保険では、加入者の皆さまの薬代の負担を減らすことができるとともに、船員保険財政の改善につながることから、「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」の普及を推進しています。

その一環として、服用されている新薬（先発医薬品）をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、どの位薬代の自己負担の軽減が可能か、対象となる方に通知書を送付しました。

通知書を送付した対象の方

1. 20歳以上の方
2. 生活習慣病や慢性疾患等の治療薬として先発医薬品を服用している方
3. ジェネリック医薬品に変更した場合に、薬代の自己負担が一定額以上減ると見込まれる方

通知書送付時期

【1回目】 令和2年8月31日

【2回目】 令和3年3月31日

通知効果

通知書を送付した翌月（令和2年9月、令和3年4月）のレセプトを用いて軽減効果額を推計しました。

	通知者数	切替人数	切替率	切替者1人当たりの軽減額 (月/円)	軽減効果額 (月/円)	軽減効果額※ (年/円)
1回目	12,473名	3,159名	25.3%	1,842円	約582万円	約6,982万円
2回目	9,126名	2,227名	24.4%	1,645円	約366万円	約4,396万円

※軽減効果額（年/円）は1ヶ月あたりの軽減効果額を単純に12倍した場合の推計です。

2 事業実施内容

2-1 通知対象者

通知対象者及び対象医薬品に関する以下の条件により、対象者を抽出し、通知書を作成する。

(1) 通知を行う加入者の条件

- ① 20歳以上（通知日時点）の加入者
- ② 生活習慣病や慢性疾患薬等の治療薬として先発医薬品を使用している加入者
- ③ 抽出期間3ヶ月（第1回目：令和2年2月、3月、4月診療分，第2回目：令和2年9月、10月、11月診療分）のいずれかの月の医科レセプトまたは調剤レセプトで、ジェネリック医薬品に切替えた場合の自己負担軽減可能額が、医科レセプト300円以上、調剤レセプト50円以上の加入者

(2) 通知薬の条件

- ① 下記薬効にあたる医薬品は通知対象から除外する。

全身麻酔剤	アルキル化剤
催眠鎮静剤、抗不安剤	代謝拮抗剤
抗てんかん剤	抗腫瘍性抗生物質製剤
興奮剤、覚せい剤	抗腫瘍性植物成分製剤
抗パーキンソン剤	その他の腫瘍用薬
精神神経用剤	あへんアルカロイド系麻薬
総合感冒剤 *	コカアルカロイド系製剤
その他の中枢神経系用薬	その他のアルカロイド系麻薬 (天然麻薬)
自律神経剤	合成麻薬
その他の個々の器官系用医薬品	その他の非アルカロイド系麻薬

* 短期処方薬としては総合感冒剤を除外する。

- ② 医療関係者以外の一般の方に広告を禁じている薬事法第67条に規定されている「政令で定めるがんその他特殊疾病に使用される医薬品」は通知対象から除外する。ただし上記に関連する医薬品以外のがん等に使用される可能性がある医薬品については、医科レセプトの傷病名等により、明らかに「がんその他特殊疾病」でないと判断できる場合に限り、通知対象とする。
- ③ 薬効分類で除外した医薬品以外の精神疾患に使用される可能性がある医薬品については、医科レセプトの傷病名に精神疾患がないと判断した場合に限り、通知対象とする。
- ④ HIVに係る医薬品は通知対象から除外する。

(3) 通知書の表示

- ① 通知書には通知除外薬を除いて、対象者が抽出期間に処方された切り替え可能なすべての医薬品を表示する。
- ② ジェネリック医薬品に切替えることで軽減できる自己負担額は、委託業者保有のレセプトデータベースより令和元年度において最も多く使用されているジェネリック医薬品を選定し、その価格に基づき表示する。

2-2 送付物の内容

通知書は個人宛に送付することとし、送付物の内容は次のとおりとする。

- (1) 通知書
- (2) 送付書兼案内リーフレット
- (3) ジェネリック医薬品希望シール

2-3 除外設定

以下の条件に該当する加入者には送付を行わない。

- ① 加入者情報データに登録（一致データ）のない加入者
- ② 加入者情報データの住所情報に明らかな不備がある加入者
- ③ 船員保険部が通知書を送付しないよう指示をした加入者
- ④ 1回目通知のうち、宛先不明のため返送された加入者

2-4 通知実績

令和2年度に2回通知を行い、1回目は12,473名、2回目は9,126名で合計21,599名に軽減額通知を送付した。

通知区分	通知者数
1回目通知（令和2年8月31日）	12,473名
2回目通知（令和3年3月31日）	9,126名
合計	21,599名

2-5 事業委託

本事業は、日本システム技術株式会社に委託して実施した。

3 ジェネリック医薬品への切替え状況

3-1 全体

令和2年度の通知者におけるジェネリック医薬品への切替え者数の合計は延べ5,386名となり、切替え率は24.9%となった。1回目通知の切替え率は25.3%、2回目通知は24.4%であり、1回目通知が0.9ポイント上回った。

通知区分	通知者数	切替え者数	切替え率
1回目通知	12,473名	3,159名	25.3%
2回目通知	9,126名	2,227名	24.4%
合計	21,599名	5,386名	24.9%

また、通知者のうち、軽減額通知後の1か月間で医療機関を受診した方（分析対象者数）は、1回目通知で5,838名、2回目通知で4,637名となり、通知者数に比例している。切替え率は1回目通知で54.1%、2回目通知で48.0%となり、1回目通知が6.1ポイント上回った。

通知区分	分析対象者数	切替え者数	切替え率
1回目通知	5,838名	3,159名	54.1%
2回目通知	4,637名	2,227名	48.0%
合計	10,475名	5,386名	51.4%

3-2 被保険者／被扶養者別

ジェネリック医薬品への切替え率を被保険者、被扶養者別にみると、1回目通知では被扶養者の切替え率が被保険者を7.9ポイント、2回目通知で7.5ポイント上回った。これは被扶養者の通知者数が少ない割に、分析対象者数（通知を送付した翌月に医療機関を受診し、処方を受けた人の人数）が多い為であり、分析対象者に絞ると、切替え率は1回目通知で54.1%、2回目通知で48.0%となり、それぞれ被保険者と被扶養者でほぼ同等となった。

■1回目通知

・通知者全体を母数とした場合

通知区分	通知者数	切替え者数	切替え率
被保険者	6,883名	1,500名	21.8%
被扶養者	5,590名	1,659名	29.7%
合計	12,473名	3,159名	25.3%

・通知者のうち、分析対象者を母数とした場合

通知区分	分析対象者数	切替え者数	切替え率
被保険者	2,779名	1,500名	54.0%
被扶養者	3,059名	1,659名	54.2%
合計	5,838名	3,159名	54.1%

■2回目通知

・通知者全体を母数とした場合

通知区分	通知者数	切替え者数	切替え率
被保険者	4,980名	1,046名	21.0%
被扶養者	4,146名	1,181名	28.5%
合計	9,126名	2,227名	24.4%

・通知者のうち、分析対象者を母数とした場合

通知区分	分析対象者数	切替え者数	切替え率
被保険者	2,230名	1,046名	46.9%
被扶養者	2,407名	1,181名	49.1%
合計	4,637名	2,227名	48.0%

3-3 男女別

ジェネリック医薬品への切替え率を男女別にみると、1回目通知、2回目通知ともに女性の方が通知数は少ないものの、切替え率が男性を上回った。ただし、分析対象者数は男女ともにほぼ同数であり、切替え率も50%前後で同等となった。

■1回目通知

- ・通知者全体を母数とした場合

通知区分	通知者数	切替え者数	切替え率
男性	7,074名	1,548名	21.9%
女性	5,399名	1,611名	29.8%
合計	12,473名	3,159名	25.3%

- ・通知者のうち、分析対象者を母数とした場合

通知区分	分析対象者数	切替え者数	切替え率
男性	2,881名	1,548名	53.7%
女性	2,957名	1,611名	54.5%
合計	5,838名	3,159名	54.1%

■2回目通知

- ・通知者全体を母数とした場合

通知区分	通知者数	切替え者数	切替え率
男性	5,139名	1,089名	21.2%
女性	3,987名	1,138名	28.5%
合計	9,126名	2,227名	24.4%

- ・通知者のうち、分析対象者を母数とした場合

通知区分	分析対象者数	切替え者数	切替え率
男性	2,328名	1,089名	46.8%
女性	2,309名	1,138名	49.3%
合計	4,637名	2,227名	48.0%

3-4 送付／返送（住所不明）別

ジェネリック医薬品への切替え率を送付／返送（住所不明）別にみると、1回目通知は送付された方が低く、2回目通知は送付された方が高い結果となった。分析対象者を母数とした場合も、同様の結果となった。

■1回目通知

- ・通知者全体を母数とした場合

通知区分	通知者数	切替え者数	切替え率
送付	12,057名	3,047名	25.3%
返送	416名	112名	26.9%
合計	12,473名	3,159名	25.3%

- ・通知者のうち、分析対象者を母数とした場合

通知区分	分析対象者数	切替え者数	切替え率
送付	5,635名	3,047名	54.1%
返送	203名	112名	55.2%
合計	5,838名	3,159名	54.1%

■2回目通知

- ・通知者全体を母数とした場合

通知区分	通知者数	切替え者数	切替え率
送付	8,946名	2,198名	24.6%
返送	180名	29名	16.1%
合計	9,126名	2,227名	24.4%

- ・通知者のうち、分析対象者を母数とした場合

通知区分	分析対象者数	切替え者数	切替え率
送付	4,566名	2,198名	48.1%
返送	71名	29名	40.8%
合計	4,637名	2,227名	48.0%

3-5 年代別

1 回目通知者のジェネリック医薬品への切替え率を年代別にみると、年齢の高い方の切替え率が高い傾向にある。とくに 45 歳以上の世代の切替え率が 20%を超えて高い結果となった。

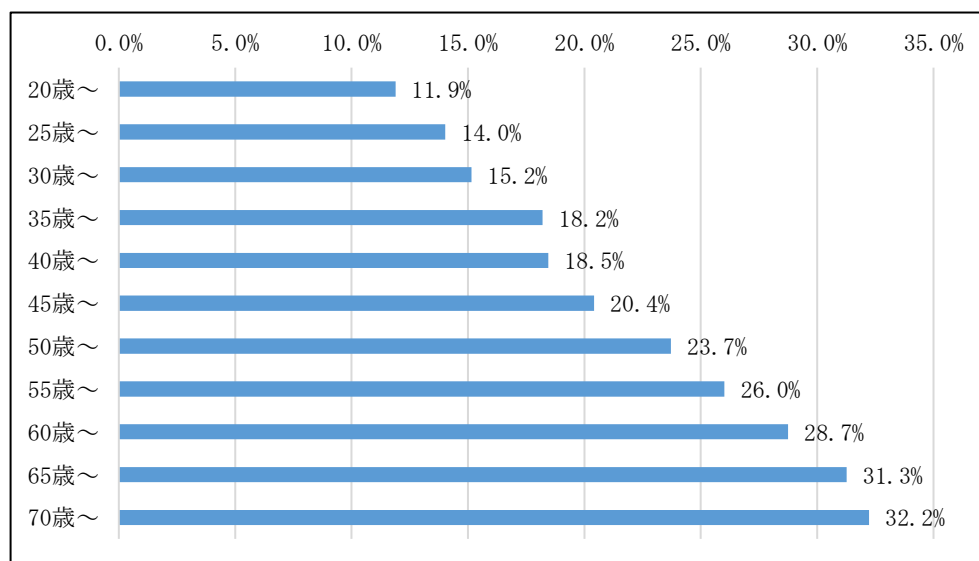
■ 1 回目通知

・ 通知者全体を母数とした場合

通知区分	通知者数	切替え者数	切替え率
20 歳～	429 名	51 名	11.9%
25 歳～	442 名	62 名	14.0%
30 歳～	528 名	80 名	15.2%
35 歳～	637 名	116 名	18.2%
40 歳～	737 名	136 名	18.5%
45 歳～	921 名	188 名	20.4%
50 歳～	1,227 名	291 名	23.7%
55 歳～	1,741 名	453 名	26.0%
60 歳～	2,014 名	579 名	28.7%
65 歳～	2,168 名	678 名	31.3%
70 歳～	1,629 名	525 名	32.2%
合計	12,473 名	3,159 名	25.3%

年齢算出基準日：令和 2 年 9 月 1 日

【年代別切替え率】



1 回目通知者の分析対象者を母数として、ジェネリック医薬品への切替え率を年代別にみると、「20 歳～」「40 歳～」、「45 歳～」の切替え率が他の年代よりやや低いが、概ね同程度であった。通知者全体を母数とした場合、若い世代の切替え率が低かったが、通知後 1 か月の医療機関受診が少なかったことが要因であったと考えられる。

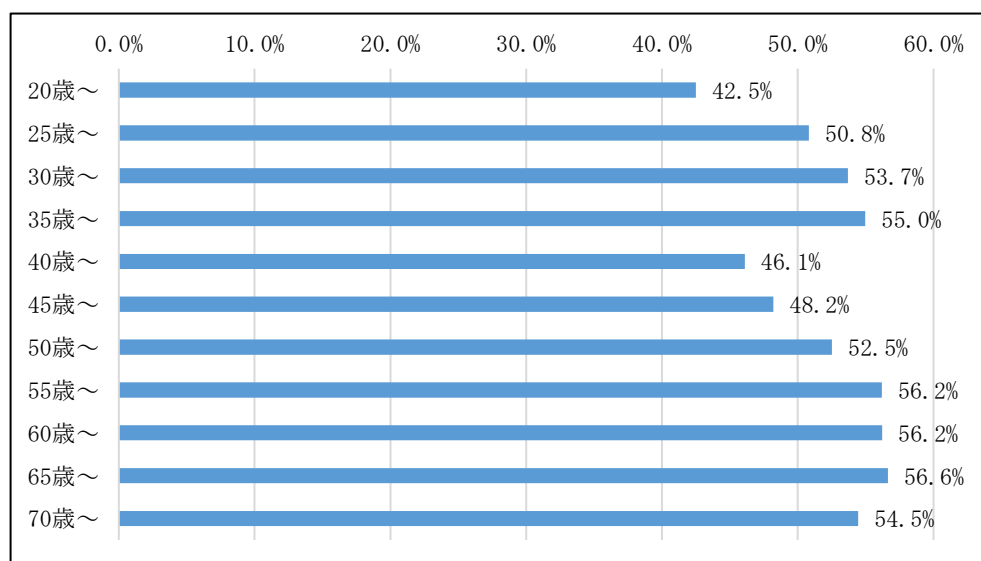
■ 1 回目通知

・通知者のうち、分析対象者を母数とした場合

通知区分	分析対象者数	切替え者数	切替え率
20 歳～	120 名	51 名	42.5%
25 歳～	122 名	62 名	50.8%
30 歳～	149 名	80 名	53.7%
35 歳～	211 名	116 名	55.0%
40 歳～	295 名	136 名	46.1%
45 歳～	390 名	188 名	48.2%
50 歳～	554 名	291 名	52.5%
55 歳～	806 名	453 名	56.2%
60 歳～	1,030 名	579 名	56.2%
65 歳～	1,197 名	678 名	56.6%
70 歳～	964 名	525 名	54.5%
合計	5,838 名	3,159 名	54.1%

年齢算出基準日：令和 2 年 9 月 1 日

【年代別切替え率】



2回目の通知者について、ジェネリック医薬品への切替え率を年代別にみると、1回目と同様、年齢の高い方の切替え率が高い傾向にあり、とくに45歳未満の若い世代の切替え率が低い結果となった。

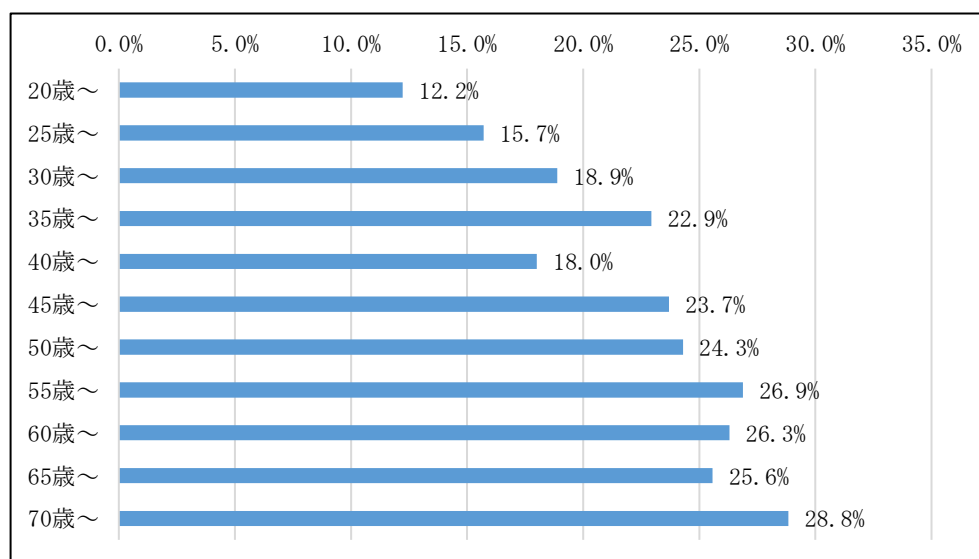
■2回目通知

・通知者全体を母数とした場合

通知区分	通知者数	切替え者数	切替え率
20歳～	360名	44名	12.2%
25歳～	312名	49名	15.7%
30歳～	376名	71名	18.9%
35歳～	388名	89名	22.9%
40歳～	511名	92名	18.0%
45歳～	671名	159名	23.7%
50歳～	885名	215名	24.3%
55歳～	1,261名	339名	26.9%
60歳～	1,483名	390名	26.3%
65歳～	1,568名	401名	25.6%
70歳～	1,311名	378名	28.8%
合計	9,126名	2,227名	24.4%

年齢算出基準日：令和3年4月1日

【年代別切替え率】



2回目の通知者の分析対象者を母数として、ジェネリック医薬品への切替え率を年代別にみると、「35歳～」の切替え率は55.6%と最も高いが、「20歳～」の切替え率は41.9%と最も低く、「40歳～」が44.9%と続いている。

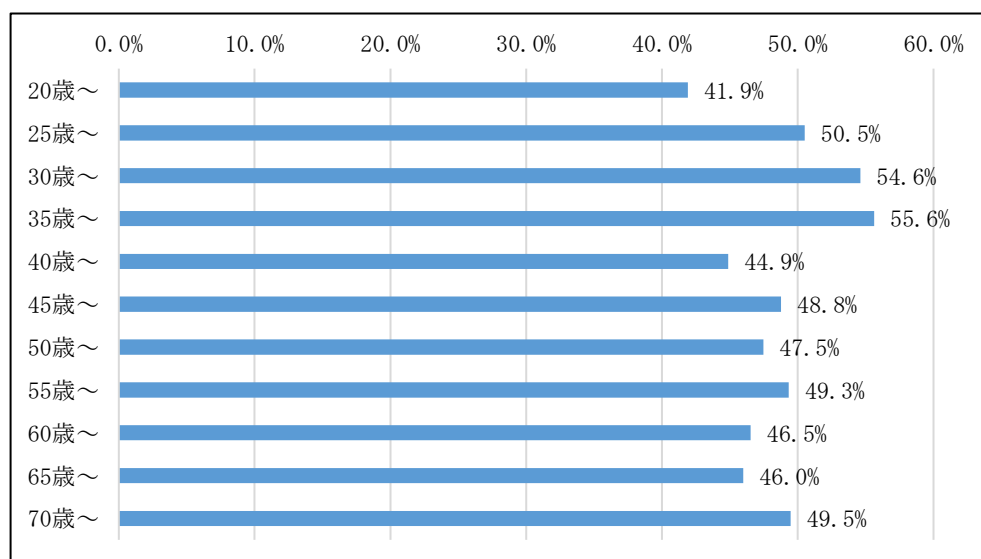
■2回目通知

・通知者のうち、分析対象者を母数とした場合

通知区分	分析対象者数	切替え者数	切替え率
20歳～	105名	44名	41.9%
25歳～	97名	49名	50.5%
30歳～	130名	71名	54.6%
35歳～	160名	89名	55.6%
40歳～	205名	92名	44.9%
45歳～	326名	159名	48.8%
50歳～	453名	215名	47.5%
55歳～	687名	339名	49.3%
60歳～	838名	390名	46.5%
65歳～	872名	401名	46.0%
70歳～	764名	378名	49.5%
合計	4,637名	2,227名	48.0%

年齢算出基準日：令和3年4月1日

【年代別切替え率】



3-6 都道府県別

ジェネリック医薬品への切替え率を都道府県別にみると、1回目通知で、通知者数500名を超えている都道府県のうち、北海道が9.3%、宮城が18.4%、兵庫が23.3%と全体の切替え率25.3%を下回った。切替え率が一番高かったのは熊本で33.2%となった。

■1回目通知

・通知者全体を母数とした場合

通知区分	通知者数	切替え者数	切替え率	レセプト 1件当たり 処方日数
北海道	781名	73名	9.3%	66.2日
青森	362名	53名	14.6%	48.2日
岩手	362名	63名	17.4%	65.2日
宮城	930名	171名	18.4%	61.4日
秋田	72名	6名	8.3%	80.8日
山形	63名	10名	15.9%	28.5日
福島	158名	13名	8.2%	53.5日
茨城	121名	8名	6.6%	69.1日
栃木	9名	2名	22.2%	52.6日
群馬	7名	2名	28.6%	34.4日
埼玉	44名	6名	13.6%	33.0日
千葉	387名	100名	25.8%	57.0日
東京	146名	37名	25.3%	41.0日
神奈川	384名	97名	25.3%	43.9日
新潟	102名	34名	33.3%	51.1日
富山	39名	4名	10.3%	55.9日
石川	181名	51名	28.2%	70.0日
福井	72名	20名	27.8%	43.1日
山梨	4名	0名	0.0%	22.6日
長野	7名	0名	0.0%	52.8日
岐阜	7名	1名	14.3%	42.8日
静岡	262名	60名	22.9%	52.8日
愛知	142名	41名	28.9%	48.4日
三重	257名	77名	30.0%	56.7日

滋賀	8名	1名	12.5%	45.8日
京都	25名	5名	20.0%	79.3日
大阪	201名	47名	23.4%	55.6日
兵庫	529名	123名	23.3%	54.2日
奈良	8名	2名	25.0%	137.2日
和歌山	93名	27名	29.0%	64.7日
鳥取	76名	28名	36.8%	55.0日
島根	190名	55名	28.9%	58.6日
岡山	127名	27名	21.3%	62.0日
広島	465名	128名	27.5%	49.8日
山口	556名	182名	32.7%	53.3日
徳島	222名	65名	29.3%	50.9日
香川	216名	52名	24.1%	56.5日
愛媛	632名	173名	27.4%	58.3日
高知	305名	75名	24.6%	57.0日
福岡	568名	175名	30.8%	49.4日
佐賀	143名	61名	42.7%	57.9日
長崎	1,315名	424名	32.2%	59.0日
熊本	545名	181名	33.2%	66.4日
大分	358名	114名	31.8%	55.7日
宮崎	394名	101名	25.6%	63.1日
鹿児島	470名	147名	31.3%	61.7日
沖縄	128名	37名	28.9%	54.2日
合計	12,473名	3,159名	25.3%	56.8日

分析対象者を母数として、ジェネリック医薬品への切替え率を都道府県別にみると、1 回目通知で、分析対象者数 200 名を超えている都道府県のうち、兵庫、広島、愛媛が全体の切替え率 54.1%を下回った。

■1 回目通知

・通知者のうち、分析対象者を母数とした場合

通知区分	分析対象者数	切替え者数	切替え率	レセプト 1 件当たり 処方日数
北海道	150 名	73 名	48.7%	66.2 日
青森	88 名	53 名	60.2%	48.2 日
岩手	114 名	63 名	55.3%	65.2 日
宮城	294 名	171 名	58.2%	61.4 日
秋田	18 名	6 名	33.3%	80.8 日
山形	19 名	10 名	52.6%	28.5 日
福島	21 名	13 名	61.9%	53.5 日
茨城	18 名	8 名	44.4%	69.1 日
栃木	4 名	2 名	50.0%	52.6 日
群馬	3 名	2 名	66.7%	34.4 日
埼玉	15 名	6 名	40.0%	33.0 日
千葉	195 名	100 名	51.3%	57.0 日
東京	67 名	37 名	55.2%	41.0 日
神奈川	180 名	97 名	53.9%	43.9 日
新潟	58 名	34 名	58.6%	51.1 日
富山	16 名	4 名	25.0%	55.9 日
石川	90 名	51 名	56.7%	70.0 日
福井	32 名	20 名	62.5%	43.1 日
山梨	2 名	0 名	0.0%	22.6 日
長野	3 名	0 名	0.0%	52.8 日
岐阜	3 名	1 名	33.3%	42.8 日
静岡	113 名	60 名	53.1%	52.8 日
愛知	77 名	41 名	53.2%	48.4 日
三重	134 名	77 名	57.5%	56.7 日
滋賀	2 名	1 名	50.0%	45.8 日
京都	12 名	5 名	41.7%	79.3 日

大阪	114名	47名	41.2%	55.6日
兵庫	269名	123名	45.7%	54.2日
奈良	4名	2名	50.0%	137.2日
和歌山	52名	27名	51.9%	64.7日
鳥取	48名	28名	58.3%	55.0日
島根	114名	55名	48.2%	58.6日
岡山	59名	27名	45.8%	62.0日
広島	243名	128名	52.7%	49.8日
山口	310名	182名	58.7%	53.3日
徳島	119名	65名	54.6%	50.9日
香川	110名	52名	47.3%	56.5日
愛媛	341名	173名	50.7%	58.3日
高知	148名	75名	50.7%	57.0日
福岡	322名	175名	54.3%	49.4日
佐賀	93名	61名	65.6%	57.9日
長崎	741名	424名	57.2%	59.0日
熊本	308名	181名	58.8%	66.4日
大分	190名	114名	60.0%	55.7日
宮崎	186名	101名	54.3%	63.1日
鹿児島	262名	147名	56.1%	61.7日
沖縄	77名	37名	48.1%	54.2日
合計	5,838名	3,159名	54.1%	56.8日

2回目通知における切替え率は、通知者数500名を超えている都道府県のうち、北海道が8.5%、宮城が15.6%となり、全体の切替え率24.4%を下回った。切替え率が一番高かったのは長崎の31.2%となっている。

■2回目通知

・通知者全体を母数とした場合

通知区分	通知者数	切替え者数	切替え率	レセプト 1件当たり 処方日数
北海道	566名	48名	8.5%	63.5日
青森	268名	36名	13.4%	59.9日
岩手	243名	31名	12.8%	69.0日
宮城	588名	92名	15.6%	67.8日
秋田	60名	6名	10.0%	70.5日
山形	51名	7名	13.7%	63.3日
福島	106名	9名	8.5%	41.4日
茨城	83名	2名	2.4%	44.4日
栃木	4名	2名	50.0%	50.4日
群馬	6名	2名	33.3%	31.5日
埼玉	31名	9名	29.0%	47.3日
千葉	299名	73名	24.4%	57.6日
東京	105名	20名	19.0%	31.0日
神奈川	258名	60名	23.3%	44.7日
新潟	76名	20名	26.3%	38.0日
富山	23名	3名	13.0%	88.3日
石川	106名	31名	29.2%	88.6日
福井	44名	12名	27.3%	61.4日
山梨	3名	1名	33.3%	25.4日
長野	5名	1名	20.0%	17.0日
岐阜	6名	2名	33.3%	24.2日
静岡	165名	48名	29.1%	54.2日
愛知	101名	22名	21.8%	62.1日
三重	162名	49名	30.2%	54.8日
滋賀	7名	4名	57.1%	40.3日
京都	31名	7名	22.6%	45.2日

大阪	144 名	35 名	24.3%	51.2 日
兵庫	460 名	134 名	29.1%	58.4 日
奈良	7 名	1 名	14.3%	44.2 日
和歌山	67 名	19 名	28.4%	57.1 日
鳥取	80 名	26 名	32.5%	51.1 日
島根	153 名	39 名	25.5%	60.9 日
岡山	94 名	26 名	27.7%	49.9 日
広島	336 名	80 名	23.8%	52.2 日
山口	406 名	104 名	25.6%	60.0 日
徳島	170 名	38 名	22.4%	59.2 日
香川	172 名	41 名	23.8%	55.5 日
愛媛	476 名	122 名	25.6%	69.2 日
高知	233 名	62 名	26.6%	65.9 日
福岡	426 名	122 名	28.6%	50.4 日
佐賀	104 名	36 名	34.6%	57.1 日
長崎	999 名	312 名	31.2%	61.4 日
熊本	405 名	125 名	30.9%	69.9 日
大分	264 名	87 名	33.0%	56.4 日
宮崎	292 名	70 名	24.0%	55.2 日
鹿児島	317 名	102 名	32.2%	62.7 日
沖縄	124 名	49 名	39.5%	55.8 日
合計	9,126 名	2,227 名	24.4%	59.2 日

分析対象者を母数として、ジェネリック医薬品への切替え率を都道府県別にみると、2 回目通知で、分析対象者数 200 名を超えている都道府県のうち、宮城、兵庫、山口、愛媛が全体の切替え率 48.0%を下回った。

■2 回目通知

・通知者のうち、分析対象者を母数とした場合

通知区分	分析対象者数	切替え者数	切替え率	レセプト 1 件当たり 処方日数
北海道	104 名	48 名	46.2%	63.5 日
青森	72 名	36 名	50.0%	59.9 日
岩手	74 名	31 名	41.9%	69.0 日
宮城	202 名	92 名	45.5%	67.8 日
秋田	14 名	6 名	42.9%	70.5 日
山形	16 名	7 名	43.8%	63.3 日
福島	24 名	9 名	37.5%	41.4 日
茨城	11 名	2 名	18.2%	44.4 日
栃木	3 名	2 名	66.7%	50.4 日
群馬	2 名	2 名	100.0%	31.5 日
埼玉	16 名	9 名	56.3%	47.3 日
千葉	161 名	73 名	45.3%	57.6 日
東京	43 名	20 名	46.5%	31.0 日
神奈川	136 名	60 名	44.1%	44.7 日
新潟	43 名	20 名	46.5%	38.0 日
富山	12 名	3 名	25.0%	88.3 日
石川	62 名	31 名	50.0%	88.6 日
福井	25 名	12 名	48.0%	61.4 日
山梨	2 名	1 名	50.0%	25.4 日
長野	1 名	1 名	100.0%	17.0 日
岐阜	3 名	2 名	66.7%	24.2 日
静岡	89 名	48 名	53.9%	54.2 日
愛知	53 名	22 名	41.5%	62.1 日
三重	92 名	49 名	53.3%	54.8 日
滋賀	5 名	4 名	80.0%	40.3 日
京都	14 名	7 名	50.0%	45.2 日

大阪	90名	35名	38.9%	51.2日
兵庫	281名	134名	47.7%	58.4日
奈良	3名	1名	33.3%	44.2日
和歌山	41名	19名	46.3%	57.1日
鳥取	48名	26名	54.2%	51.1日
島根	93名	39名	41.9%	60.9日
岡山	50名	26名	52.0%	49.9日
広島	190名	80名	42.1%	52.2日
山口	236名	104名	44.1%	60.0日
徳島	87名	38名	43.7%	59.2日
香川	83名	41名	49.4%	55.5日
愛媛	278名	122名	43.9%	69.2日
高知	133名	62名	46.6%	65.9日
福岡	238名	122名	51.3%	50.4日
佐賀	76名	36名	47.4%	57.1日
長崎	598名	312名	52.2%	61.4日
熊本	242名	125名	51.7%	69.9日
大分	173名	87名	50.3%	56.4日
宮崎	152名	70名	46.1%	55.2日
鹿児島	187名	102名	54.5%	62.7日
沖縄	79名	49名	62.0%	55.8日
合計	4,637名	2,227名	48.0%	59.2日

4 軽減効果額

4-1 軽減効果額

1回目、2回目の通知後1か月の軽減効果額合計は約948万円となり、切替え者数一人当たりの軽減効果額は1,760円となった。1回目、2回目通知の比較では、1回目通知が2回目通知を上回っている。

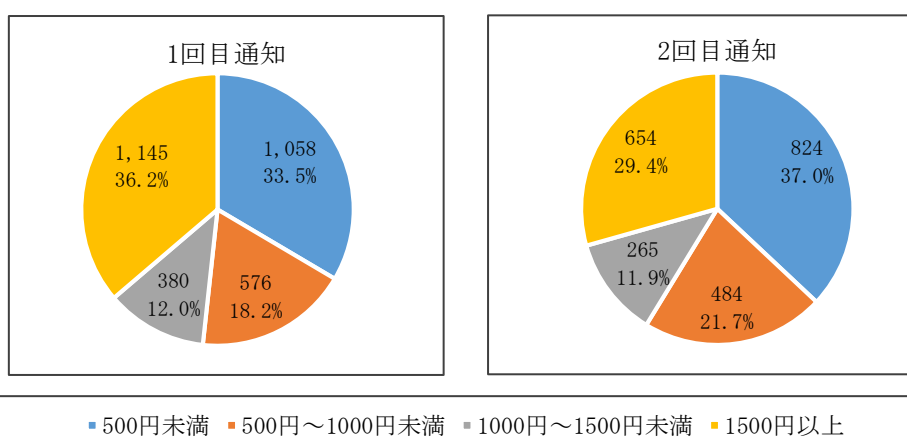
通知区分	切替え者数	軽減効果額※	一人当たり軽減効果額
1回目通知	3,159名	5,818,350円	1,842円
2回目通知	2,227名	3,663,378円	1,645円
合計	5,386名	9,481,728円	1,760円

※1回目通知は9月診療分、2回目通知は4月診療分より算出。

4-2 一人当たり軽減効果額ごとの人数

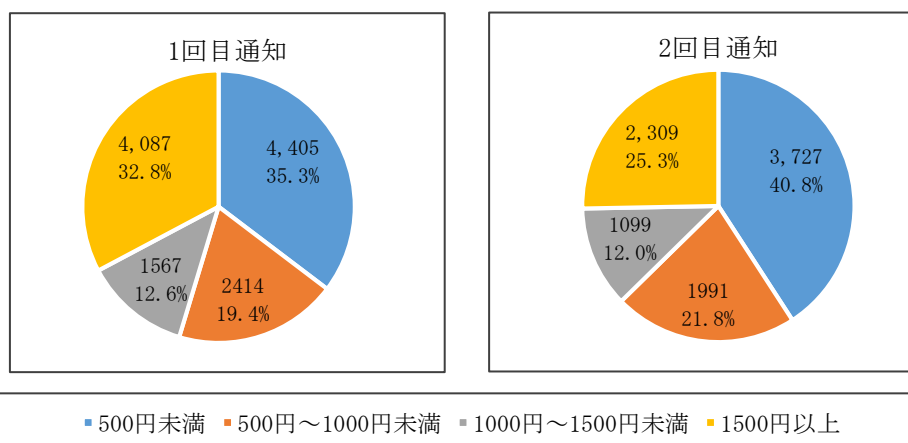
一人当たり軽減効果額を 500 円単位に分け、それぞれの対象者数をみると、1 回目は 1,500 円以上、2 回目は 500 円未満が最も多くなっている。10,000 円を超える方が、1 回目通知で 49 名、2 回目通知で 30 名存在している為、これらの方が一人当たり軽減効果額の平均を押し上げていると考えられる。

	500 円未満	500 円～ 1000 円未満	1,000 円～ 1,500 円未満	1,500 円 以上	切替え者 合計
1 回目通知	1,058 名	576 名	380 名	1,145 名	3,159 名
2 回目通知	824 名	484 名	265 名	654 名	2,227 名



また、通知者全体を母数とした場合の割合は以下の通りとなり、切替え者を母数としたときの割合と大きな差はみられない。

	500 円未満	500 円～ 1000 円未満	1,000 円～ 1,500 円未満	1,500 円 以上	通知者 合計
1 回目通知	4,405 名	2,414 名	1,567 名	4,087 名	12,473 名
2 回目通知	3,727 名	1,991 名	1,099 名	2,309 名	9,126 名



4-3 被保険者／被扶養者別

一人当たり軽減効果額を被保険者、被扶養者別にみると、1回目、2回目ともに被保険者が被扶養者を約200円～300円上回った。切替え者数は被保険者の方が少ない為、軽減効果額の高い医薬品の処方が多かったことが一因と考えられる。

■1回目通知

通知区分	切替え者数	軽減効果額	一人当たり軽減効果額	軽減効果額5,000円以上
被保険者	1,500名	2,931,060円	1,954円	149名
被扶養者	1,659名	2,887,290円	1,740円	100名
合計	3,159名	5,818,350円	1,842円	249名

■2回目通知

通知区分	切替え者数	軽減効果額	一人当たり軽減効果額	軽減効果額5,000円以上
被保険者	1,046名	1,885,940円	1,803円	75名
被扶養者	1,181名	1,777,438円	1,505円	56名
合計	2,227名	3,663,378円	1,645円	132名

4-4 男女別

一人当たり軽減効果額を男女別にみると、1回目通知、2回目通知ともに男性が女性を上回った。切替え者数は男女ほぼ同数であるが、一人当たり軽減効果額、および数量は男性の方が多くなっている。

■1回目通知

通知区分	切替え者数	軽減効果額	一人当たり軽減効果額	数量
男性	1,548名	3,047,179円	1,968円	555,492
女性	1,611名	2,771,171円	1,720円	542,919
合計	3,159名	5,818,350円	1,842円	1,098,412

■2回目通知

通知区分	切替え者数	軽減効果額	一人当たり軽減効果額	数量
男性	1,089名	1,984,435円	1,822円	447,240
女性	1,138名	1,678,943円	1,475円	407,840
合計	2,227名	3,663,378円	1,645円	855,080

4-5 送付／返送（住所不明）別

一人当たり軽減効果額を送付／返送（住所不明）別にみると、1回目通知、2回目通知ともに送付した人よりも返送された人の軽減効果額が上回っている。

■1回目通知

通知区分	切替え者数	軽減効果額	一人当たり軽減効果額
送付	3,047名	5,582,189円	1,832円
返送	112名	236,161円	2,109円
合計	3,159名	5,818,350円	1,842円

■2回目通知

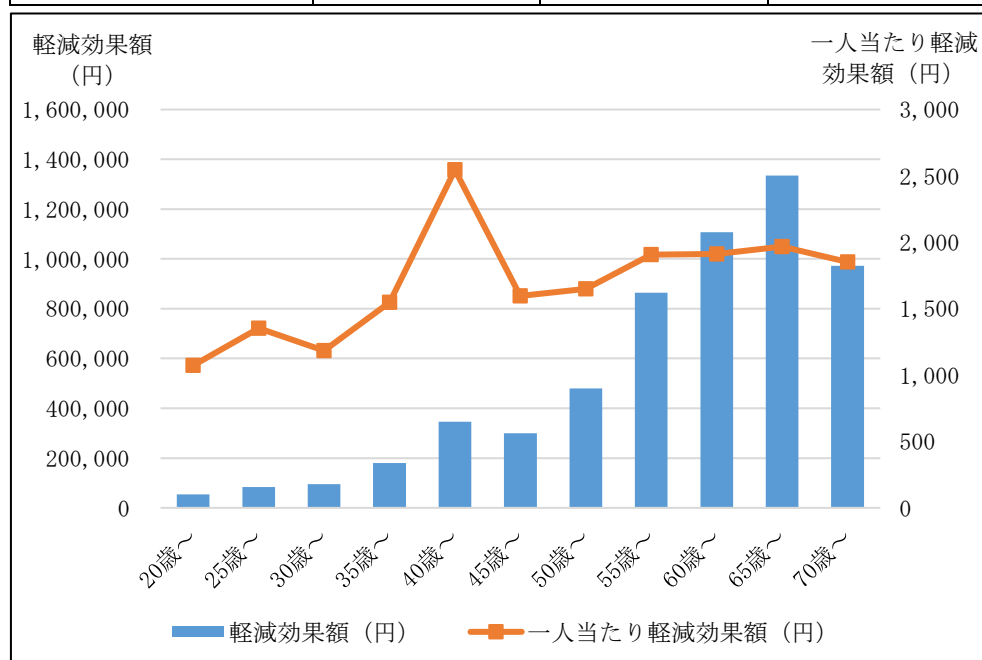
通知区分	切替え者数	軽減効果額	一人当たり軽減効果額
送付	2,198名	3,549,373円	1,615円
返送	29名	114,004円	3,931円
合計	2,227名	3,663,378円	1,645円

4-6 年代別

1 回目通知の一人当たり軽減効果額を年代別にみると、「40 歳～」で 2,545 円と高くなっている。「40 歳～」の切替え率は低いが、約 95,000 円の軽減効果額の方が存在する為、全体を押し上げる形となった。

■ 1 回目通知

通知区分	切替え者数	軽減効果額	一人当たり軽減効果額
20 歳～	51 名	54,712 円	1,073 円
25 歳～	62 名	83,921 円	1,354 円
30 歳～	80 名	94,780 円	1,185 円
35 歳～	116 名	179,565 円	1,548 円
40 歳～	136 名	346,145 円	2,545 円
45 歳～	188 名	300,093 円	1,596 円
50 歳～	291 名	479,994 円	1,649 円
55 歳～	453 名	864,462 円	1,908 円
60 歳～	579 名	1,107,378 円	1,913 円
65 歳～	678 名	1,334,514 円	1,968 円
70 歳～	525 名	972,786 円	1,853 円
合計	3,159 名	5,818,350 円	1,842 円

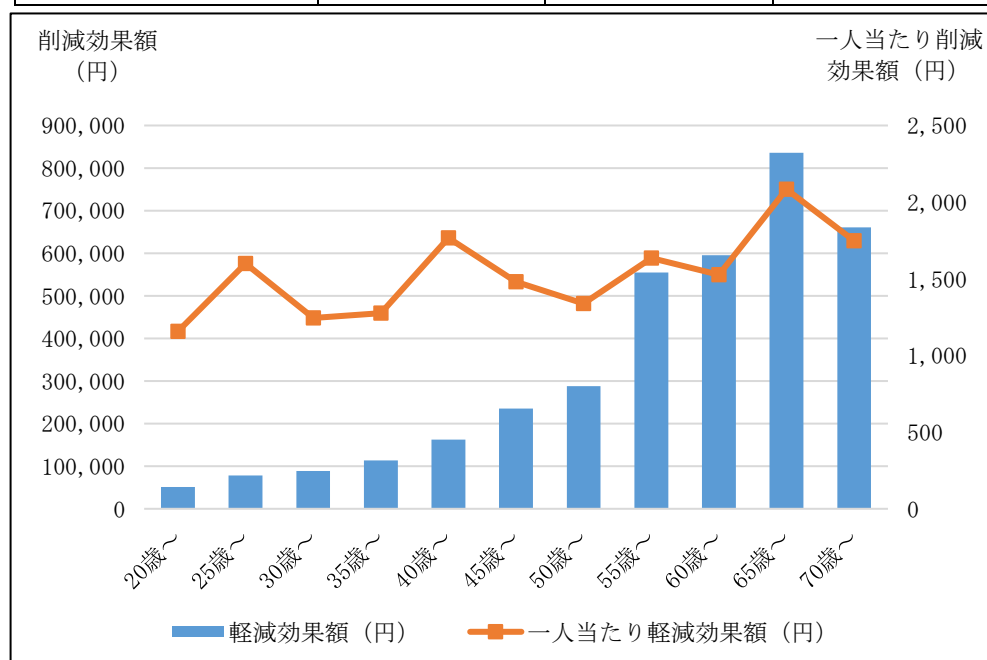


※軽減効果額は小数点第一位を四捨五入している為、合計と内訳が一致しません。

2 回目通知の一人当たり軽減効果額を年代別にみると、「65 歳～」で 2,084 円と高くなっている。軽減効果額の高い医薬品が処方された方が多いと考えられる。

■ 2 回目通知

通知区分	切替え者数	軽減効果額	一人当たり軽減効果額
20 歳～	44 名	50,932 円	1,158 円
25 歳～	49 名	78,379 円	1,600 円
30 歳～	71 名	88,440 円	1,246 円
35 歳～	89 名	113,513 円	1,275 円
40 歳～	92 名	162,624 円	1,768 円
45 歳～	159 名	235,550 円	1,481 円
50 歳～	215 名	287,692 円	1,338 円
55 歳～	339 名	554,616 円	1,636 円
60 歳～	390 名	595,518 円	1,527 円
65 歳～	401 名	835,699 円	2,084 円
70 歳～	378 名	660,416 円	1,747 円
合計	2,227 名	3,663,378 円	1,645 円



※軽減効果額は小数点第一位を四捨五入している為、合計と内訳が一致しません。

4-7 都道府県別

1 回目通知の一人当たり軽減効果額を都道府県別にみると、切替え者数 100 名を超えている都道府県のうち、千葉、広島、福岡、長崎、熊本、宮崎が平均の 1,842 円を下回った。

■1 回目通知

通知区分	切替え者数	軽減効果額	一人当たり 軽減効果額
北海道	73 名	149,241 円	2,044 円
青森	53 名	102,746 円	1,939 円
岩手	63 名	178,194 円	2,828 円
宮城	171 名	326,870 円	1,912 円
秋田	6 名	11,911 円	1,985 円
山形	10 名	13,018 円	1,302 円
福島	13 名	15,032 円	1,156 円
茨城	8 名	7,909 円	989 円
栃木	2 名	2,927 円	1,464 円
群馬	2 名	697 円	349 円
埼玉	6 名	17,067 円	2,844 円
千葉	100 名	148,366 円	1,484 円
東京	37 名	74,841 円	2,023 円
神奈川	97 名	163,121 円	1,682 円
新潟	34 名	45,044 円	1,325 円
富山	4 名	6,112 円	1,528 円
石川	51 名	94,228 円	1,848 円
福井	20 名	17,081 円	854 円
山梨	0 名	0 円	-
長野	0 名	0 円	-
岐阜	1 名	2,125 円	2,125 円
静岡	60 名	208,699 円	3,478 円
愛知	41 名	82,131 円	2,003 円
三重	77 名	130,167 円	1,690 円
滋賀	1 名	1,007 円	1,007 円
京都	5 名	10,854 円	2,171 円
大阪	47 名	66,332 円	1,411 円
兵庫	123 名	231,596 円	1,883 円

奈良	2名	9,996円	4,998円
和歌山	27名	38,673円	1,432円
鳥取	28名	48,308円	1,725円
島根	55名	107,067円	1,947円
岡山	27名	68,893円	2,552円
広島	128名	195,690円	1,529円
山口	182名	346,127円	1,902円
徳島	65名	128,006円	1,969円
香川	52名	95,573円	1,838円
愛媛	173名	400,935円	2,318円
高知	75名	161,487円	2,153円
福岡	175名	301,016円	1,720円
佐賀	61名	121,405円	1,990円
長崎	424名	697,434円	1,645円
熊本	181名	269,222円	1,487円
大分	114名	212,554円	1,865円
宮崎	101名	153,919円	1,524円
鹿児島	147名	283,702円	1,930円
沖縄	37名	71,025円	1,920円
合計	3,159名	5,818,350円	1,842円

※軽減効果額は小数点第一位を四捨五入している為、合計と内訳が一致しません。

2回目通知の一人当たり軽減効果額を都道府県別にみると、切替え者数100名を超えている都道府県のうち、兵庫、愛媛、長崎、熊本、鹿児島が平均の1,645円を下回った。

■2回目通知

通知区分	切替え者数	軽減効果額	一人当たり軽減効果額
北海道	48名	101,294円	2,110円
青森	36名	66,281円	1,841円
岩手	31名	59,799円	1,929円
宮城	92名	130,584円	1,419円
秋田	6名	19,090円	3,182円
山形	7名	8,809円	1,258円
福島	9名	13,059円	1,451円
茨城	2名	1,317円	659円
栃木	2名	4,380円	2,190円
群馬	2名	2,647円	1,324円
埼玉	9名	11,535円	1,282円
千葉	73名	110,662円	1,516円
東京	20名	47,692円	2,385円
神奈川	60名	158,432円	2,641円
新潟	20名	25,974円	1,299円
富山	3名	9,488円	3,163円
石川	31名	34,711円	1,120円
福井	12名	8,464円	705円
山梨	1名	237円	237円
長野	1名	1,384円	1,384円
岐阜	2名	1,277円	638円
静岡	48名	60,920円	1,269円
愛知	22名	21,745円	988円
三重	49名	41,936円	856円
滋賀	4名	1,359円	340円
京都	7名	4,911円	702円
大阪	35名	61,290円	1,751円
兵庫	134名	220,249円	1,644円
奈良	1名	1,741円	1,741円

和歌山	19名	25,104円	1,321円
鳥取	26名	45,488円	1,750円
島根	39名	56,482円	1,448円
岡山	26名	129,342円	4,975円
広島	80名	129,697円	1,621円
山口	104名	181,083円	1,741円
徳島	38名	51,723円	1,361円
香川	41名	76,496円	1,866円
愛媛	122名	165,778円	1,359円
高知	62名	150,758円	2,432円
福岡	122名	252,945円	2,073円
佐賀	36名	52,705円	1,464円
長崎	312名	430,521円	1,380円
熊本	125名	196,240円	1,570円
大分	87名	137,732円	1,583円
宮崎	70名	137,739円	1,968円
鹿児島	102名	148,354円	1,454円
沖縄	49名	63,922円	1,305円
合計	2,227名	3,663,378円	1,645円

※軽減効果額は小数点第一位を四捨五入している為、合計と内訳が一致しません。